

稲作情報

(田植え～分けつ期の管理)

令和3年度第2号

令和3年5月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、

喜多方市、北塩原村、西会津町

★米作りが本格的に始まります。基本技術の励行でオール1等、特A獲得を目指しましょう!!

天気予報

- ・天気は数日の周期で変わります。
- ・向こう1か月の気温は、高い確率40%です。
- ・降水量と日照時間は、概ね平年並の予想です。

<1か月予報> (5/6 仙台管区气象台 発表) >

気温 

降水量 

日照時間 
 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

これまでの生育状況

<播種作業>

播種作業は、概ね平年並に推移しました。

<苗の生育状況>

全域で低温による出芽・生育の遅れが見られました。

播種作業の進捗状況

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	4月12日	4月21日	4月28日
平年	4月13日	4月20日	4月26日

田 植 え

～健苗を適期に植えましょう～

- ・用水不足に備え、代かき時から節水に努めるとともに、前年の稲わらの浮き上がり防止のため、代かきは、ほ場の7～8割の土が見える程度の浅水状態で行いましょう。
- ・田植えは風の強い日に行いましょう。風の強い日や低温が続くと活着が遅れます。
- ・茎数を確保しにくい「天のつぶ」は株間16cm、「ふくひびき」は株間18cmが基本です。株間20cm以上の疎植は避けて下さい。

大型機械の作業が増える時期です。事故防止のため安全を確認しながら作業を行いましょう。

＝ 春の農作業安全運動重点推進期間 4月1日～5月31日 ＝

水 管 理

(1) 田植え後

- ・田植え後は、植え傷みを少なくするため、草丈の半分程度まで湛水し、活着を促しましょう。

(2) 活着後

- ・活着後は、草丈の2割程度の浅水管理とし、水温の上昇をはかり、分けつを促進させましょう。ただし、低温が続く場合や風の強い日は草丈の半分程度まで湛水します。

- ・ 稲わら等未熟有機物が多いほ場や排水性の悪いほ場では、気温の上昇とともに、ガスわみや表層はく離が発生します。発生した場合は、温暖な日を選んで間断かん水を行いましょう。

雑草対策及び除草剤使用時の注意点

<除草剤による効果的な防除>

- ・ 田面の均平と畦畔の漏水防止対策を行いましょう。
- ・ 除草剤の使用時期と雑草の種類及び生育ステージを確認し、適期に散布してください。
- ・ クログワイやオモダカ等の難防除雑草や雑草イネが増加傾向にあるほ場では、初期剤や初中期一発剤に中期剤を組み合わせた体系防除を行いましょう。

除草剤の使用時期等

分類	除草剤名	使用時期	使用量	使用方法	注意点
初期剤	エリジャン乳剤	植代後～移植7日前まで又は移植直後～ /ビ ¹ 葉期(但し、移植後30日まで)	300ml/10a	原液湛水散布	コナギへの効果が劣る
	農将軍フロアブル	植代後～移植7日前又は移植直後～/ビ ¹ 1葉期(但し、移植後30日まで)	300ml/10a (少量散布)		
	ピラクロンフロアブル	植代後～移植7日前又は移植直後～/ビ ¹ 1.5葉期(但し、移植後30日まで)	500ml/10a	原液湛水散布 又は水口施用	
	メテオフロアブル	植代後～移植前7日又は移植直後～/ビ ¹ 1葉期(但し、移植後30日まで)	1kg/10a	湛水散布	
	メテオ1キロ粒剤				
ソルネット1キロ粒剤				砂壤土～埴土で使用すること 散布後の異常高温が予想される時は使用しないこと	
初中期一発剤	ベッカク1キロ粒剤	移植直後～/ビ ¹ 3葉期 (但し、移植後30日まで)	小包装(パック)10 個(300g)/10a	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。 湛水散布又は 無人航空機に よる散布	/ビ ¹ 専用
	ポデーガードプロジャンボ	移植後5日～/ビ ¹ 3葉期(但し、移植後30 日まで)			
	センイチMX1キロ粒剤	移植直後～/ビ ¹ 3.5葉期 (但し、収穫60日前まで)			
中期剤	ヒエクリーン1キロ粒剤	移植後15日～/ビ ¹ 4葉期 (但し、収穫45日前まで)	1kg/10a	湛水散布	・散布後の異常高温が予想される時は使用しないこと ・魚毒性
	マメットSM1キロ粒剤	移植後15日(イネ5葉期以降)～/ビ ¹ 3.5葉 期(但し、収穫60日前まで)			

※剤によっては1キロ粒剤やフロアブル剤、ジャンボ剤もあるので、登録内容を確認の上、使用してください。

<除草剤使用時の注意点>

- ・ 散布後7日間以上は止水管理とし、落水や掛け流しを行わないようにして下さい。
- ・ 必ずラベルと最新の登録情報を確認し、使用基準を守りましよう。

★水田内にノビエやホタルイが残っていると、カメムシ類の侵入を助長し、繁殖源となりますので、しっかり除草しましよう。

★春先に畦畔等に出穂するイネ科雑草がカメムシ類のエサ場となりますので、計画的に草刈りを行い、カメムシ類の密度を抑制しましよう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801